



# News Letter



第14号

## 大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel: 06-6263-9753, Fax: 06-6263-9773  
http://www.jaso-1946.com E-mail: jaso@takenaka.co.jp

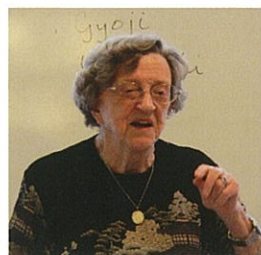
### ボビー・バレンタイン監督昼食講演会とナイター観戦 2007年5月9日(水)

千葉ロッテマリーンズのボビー・バレンタイン監督をお招きして、昼食講演会を開催しました。講演会にはラッセル総領事や関大阪市長をはじめ、多くの会員にお集まりいただき、また神戸日米協会のセティ会長、京都日米協会の西村副会長ら神戸・京都の両協会からもご参加くださいました。和やかな講演会の最後には、監督から抽選で4名の方にサイン色紙をプレゼントしていただきました。また、夕方からは京セラドームに場所を移して、オリックス対ロッテの試合を観戦。試合前にはオリックス球団のご案内で、特別にドームの施設やロッテの練習を間近で見学させていただきました。アメリカ人監督対決となったこの試合は、コリンズ監督率いるオリックスが接戦を制しました。



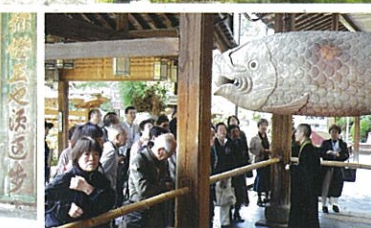
### 大相撲春場所観戦と大相撲談義 2007年3月25日(日)

今年の大相撲談義には、イギリス人相撲解説者のドリーン・シモンズさんをお招きしました。シモンズさんはNHK衛星放送の大相撲解説を10数年にわたって担当され、その知識と経験にもとづいた楽しい相撲談義を聞かせてくださいました。お話の後はシモンズさんとともに、大阪府立体育会館に場所を移して春場所千秋楽を観戦。横綱朝青龍と大関白鵬の一騎打ちとなった優勝決定戦は、白鵬が立ち合いの変化で一瞬のうちに横綱を下すあっけない展開となり、場内に座布団が乱れ飛ぶ場面が見られました。表彰式には関大阪市長や東国原宮崎県知事も出席し、恒例各賞の授与が行われました。



### 春の日帰り旅行 ～京都:禅と伝統工芸にふれる旅～ 2007年4月14日(土)

さわやかな晴天に恵まれたこの日、会員の皆さんと京都を旅しました。まず最初に宇治方面へ向かい、中国の僧侶が開山した禅宗黄檗宗の大本山、黄檗山萬福寺を訪れました。中国禅寺の特徴を持ち、異国情緒の漂う境内をご案内していただいた後、非公開の東方丈の見学や座禅研修を体験しました。京都市内で昼食をとった後、暖かい日差しの中、無隣庵庭園や南禅寺周辺を散策。その後、京友禅の体験コースと楽美術館の見学コースに分かれて、京の伝統工芸に親しみました。京友禅工房では好みの図柄を擦り込んで、オリジナルの風呂敷や扇子が見事に完成。楽美術館では十五代・樂吉左衛門先生から直にお話を伺うことができました。



### ジャズ・ナイト@大阪ブルーノート 2007年2月22日(木)

今回はニューヨーク発祥の名門ジャズクラブ「ブルーノート」でのジャズ・ナイトを企画しました。アーティストは、ラテン・フュージョンの第一人者・松岡直也さんとトップギタリスト・和田アキラさんという、幅広い世代を魅了する新ユニットです。夕食会で乾杯に立たれたラッセル総領事は、ご出身のニューヨークで本家「ブルーノート」が開店した当時のことなどをお話くださいました。参加された皆さんは、店自慢のディナーとドリンクを堪能しながら、いつもとは一味違ったムードでの和やかな歓談と、実力派アーティストによる円熟のパフォーマンスを心ゆくまで楽しめたようです。



### スケジュール

2007年7月20日(金)

2007年度 理事会・総会・懇親会

場所: リーガロイヤルホテル

時間: 総会 17:30～

懇親会 18:00～





## 大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年にあたって



大阪市長 関 淳一

本年は大阪市が最初の姉妹都市としてサンフランシスコ市と提携を行って以来、記念すべき50周年にあたり、去る2月にはギャビン・ニューサム サンフランシスコ市長一行が大阪を訪問されました。ニューサム市長は19日に大阪市役所へお越しになり、大阪・サンフランシスコ両市が姉妹都市として連携を図りながら発展していくことを誓う50周年記念宣言書へ共に署名を行い、サンフランシスコ市内の日本町にある通りのひとつを「OSAKA WAY」に改名するという、大阪市にとって誠に嬉しいご意向を表明され、両市の友好関係を再確認し、友情の絆を一層強めることができました。大阪市においても、大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年記念事業実行委員会の主催により「キック・オフ」と名付けた記念事業を展開し、ラッセル米岡総領事をお迎えしたトークショーをはじめ、マンガという親しみやすい分野で日米文化の比較を行う実践セミナー、アメリカンフットボールチーム49ersのチアリーダー「ゴールド・ラッシュ」のユニバーサル・スタジオ・ジャパンにおける公演などを行い、大きな成果を収めることができました。竹中統一実行委員長をはじめ、大阪とサンフランシスコの相互理解と友好親善の一層の進展にご尽力いただきました各団体と関係の皆様方に深く感謝しあげる次第であります。また、姉妹都市提携50周年にあたって、昨年9月に大阪市民によるワーキンググループが発足し、現在、140名ものメンバーがそれぞれの専門分野での知識を活かして「平成の成徳丸」に見立てたヨットでサンフランシスコをめざすほか、両市の青年会議所による交流、英語落語の公演など、様々な計画が進んでおります。私自身も9月にはサンフランシスコを訪れる予定であり、両市の友好親善を深めることはもとより、都市としての共通課題の解決と「創造力」の向上、発展に役立てたいと存じます。今後とも、大阪・サンフランシスコ、日本・アメリカの友好交流のさらなる進展に力を尽くしてまいりますので、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



挨拶するニューサム市長

サンフランシスコ市一行の大阪市訪問



## 会員便り

秦子&セス・シーゲルさん  
(京都市)

はじめまして  
大阪日米協会の会員の皆さんに、改めてご挨拶申し上げます。この度、新会員として迎えていただき、活動に参加させていただくことになりました。3月25日の大相撲千秋楽では、大変楽しいひとときを過ごしました。これが大阪日米協会の行事初参加でしたが、大相撲について学びながら生で観戦することができ、私たちにはとても刺激的な一日となりました。観戦前にドリー・シモンズさんから相撲の歴史や詳しい解説を聞くことができたのは、思いがけない素晴らしい企画でした。その長年の経験と幅広い知識のおかげで、大相撲観戦がさらに内容の濃い充実したものとなり、私たちの相撲に対する見方も変わり、理解も深まりました。今回のイベントにシモンズさんが招かれたことは、協会が質の高いイベントを提供している証であり、また、シモンズさんが相撲に極めて造詣の深い伝道者として得がたい役割を果たされていることの表れでもあります。これからも大阪日米協会の活動に参加させていただけることを、私たちふたりとも楽しみにしています。そして、日米と東西の架け橋となるこの重要な取り組みに、少しでもお役に立てればと思っています。

野田 裕子さん  
(京都市)

## 私の人生とアメリカ

私とアメリカ。それは私が20歳の大学生の時、初めてシアトルの空港へ降りた時から始まりました。当時、日本にとってアメリカは裕福でビッグなあこがれの国でした。実際、私もホームステイ先で大きな牛乳ビンとビザに驚いたものです。その体験から30年。航空会社に就職し、社会人として訪れたアメリカ。結婚式・新婚旅行で夫と共に訪れたアメリカ。その後、子供が成長し留学していた時、母として訪れたアメリカ。今振り返れば、私の人生のアルバムには、いつも必ず想い出と共に、アメリカで家族のように親しくしていただいた方々、お世話になった方々のお顔が浮かんできます。初めての海外生活に不安一杯の私を優しく抱きしめてくれた青い目のお母さん。そして、子供が留学し苦境に立っていた時、母親として途方にくれていた私と娘を温かく包んでくれた方々。異国の地で人として助け支えてくださった方々に本当に感謝し、また私に無償の愛を教えていただきました。今、その経験を共に感じて成長した娘が、今度は日本とアメリカの架け橋になる仕事を選びました。これからの若い世代が国境にとらわれず、人として無償の愛があれば世界は一つだと思える時代になる事を期待し、私もそのお手伝いが少しでもできたらいいなと思っています。

## アメリカ総領事館より



日本人とアメリカ人が一緒に集う方法や機会とは何でしょう？もし、あなたが大阪日米協会の会員なら、その答えはご存知でしょう。そう、大阪日米協会です。もうひとつの両国民が集う機会と言えば、アメリカ艦船の寄港です。日米両国は、半世紀以上にわたり同盟関係が続いています。海軍艦船は日本中の港を訪問し、アメリカ人乗組員と日本人が面と向かった相互理解を深めているのです。アメリカ艦船の寄港中、艦長は地元の自治体を訪問し、マスコミにも公開しています。また招待客による船上パーティや艦内ツアーなども、しばしば行っています。いつの寄港であれ、乗組員たちに非常に人気がある大切な行事に「コミュニティ・リレーションズ/コムレ」と呼ばれる地域社会の奉仕活動があります。今年3月上旬、アメリカ海軍駆逐艦『ステッテム』が大阪港に入港した際、大阪の聖家族の家（ホーリーファミリーホーム）では、乗組員たちがホームの人たちと一緒に社会奉仕活動に従事しました。作業が終われば、お互いに遊んだり、おしゃべりをしたりして一緒に楽しい時間を過ごしていました。乗組員たちはこういった事が、実は大好きなんです。彼らは自分たちの家族と数ヶ月間、離れ離れになっているわけで、孤児院にいる子供達と比べ、それほど年齢は変わりません。ホーリーファミリーホームの子供たちのように、乗組員も全米からさまざまな違う環境から集まった 男性・女性・入隊士官・技術者・調理師といった連中です。でも、彼らは日本を知るために、友人を作ったり、新しい集いの場を見つける事を楽しみにしている点は、皆同じなんです。ですから、次回、米艦船が寄港することがあれば、ゆっくりとご覧下さい。いつも刺激的なイベントに参加する機会を、きっとみなさんは見つけるでしょう。つまりそれがアメリカ艦船の寄港なんです！

## 会長のひとりごと

本年は大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年の年にあたり、両都市で様々な行事が行われます。大阪での行事については本号の大阪市のご寄稿に譲るとして、サンフランシスコ市で行われた「桜祭り」と、姉妹都市50周年オープニング・レセプションにご招待を受け、大阪の代表として出席してまいりました。4/20(金)に行なわれたオープニング・レセプションでは、実行委員共同会長のMrs. K KimuraやMr. A Okamotoをはじめ、サンフランシスコ側の姉妹都市協会の方々大いに親交を深めることができました。また、4/22(日)には「桜祭り」グランド・パレードに参加し、同市のニューサム市長にご挨拶した後、サンフランシスコ市庁舎から終点の日本町までの約2kmを45分ほどかけてパレードいたしました。パレード当日は天気にも恵まれ、沿道にはたくさんの観客が詰め掛けて、大変な賑わいとなりました。短い時間でしたが、両市の友好を深めるのにお役に立てたのではないかと思います。さて、大阪日米協会の会長としてこの誌面に登場するのは今回が最後となります。任期中の皆様のご協力、誠にありがとうございました。



## ◆新入会員紹介◆

(敬称略)

## 法人会員

西サンスエ管材株式会社  
代表取締役 金光 みちる  
取締役 金光 由香理

能美防災株式会社大阪支社  
支社長 南 謹治  
部長 小野 洋昭

鶴亀温水器工業株式会社  
代表取締役社長 八和田 靖夫

株式会社山田商店  
社長 山田 隆三  
大阪支店支店長 山田 義隆  
総務・経理部長 新名 文人  
営業統括部長 池永 龍彦  
営業部長 宮内 博行

株式会社竹中土木大阪本店  
取締役大阪支店長 永井 康治  
大阪本店総務部長 辻 一幸

株式会社大阪城口研究所  
代表取締役社長 城口 俊雄  
常務取締役 山口 末雄  
課長補佐 宮坂 修一

## 個人会員

芦崎 重也 (高槻市) 小野 幸親 (大阪市) 白木 孝 (京都市)  
原 健人 (芦屋市) 坂上 富士夫 (西宮市) 山地 真人 (高松市)  
松田 喜久子 (豊中市) シーゲル セス (京都市) 吉田 紫帆 (大阪市)  
中山 泰秀 (大阪市) シーゲル 泰子 (京都市)

## 編集後記

5月9日には、当初よりお招きしたかったバレンタイン監督にご講演を頂戴できました。いかがでしたでしょうか。さて、次回より会報誌の編集は次期事務局にバトンタッチする予定です。2年間のご愛読ありがとうございました。会報誌の編集や毎回の企画に携わらせていただく中で、多くの方と出会い、さまざまなご協力を頂戴いたしました。この場を借りて、御礼申し上げます。(事務局)





# News Letter



Vol.14

## 大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

4-1-13 Honmachi, Chuo-ku, Osaka, 〒541-0053, Japan Tel: 06-6263-9753, Fax: 06-6263-9773  
http://www.jaso-1946.com E-mail: jaso@takenaka.co.jp

### Lunch Lecture with Bobby Valentine & Baseball Game May 9, 2007 (Wed)

We held a lunch lecture with Mr. Bobby Valentine, Manager of Chiba Lotte Marines. Consul General Russel, Osaka Mayor Seki, and many other JASO members attended the lunch lecture. We also had President Sethi of the Japan-America Society of Kobe, Vice President Nishimura of the America-Japan Society of Kyoto and some other members from the two societies. At the end of his inspiring lecture, Mr. Valentine drew lots and gave his autographed cards to the four winners. Later that day, we watched the baseball match between the Orix Buffaloes and the Chiba Lotte Marines at Kyocera Dome Osaka. Before the game, we got to watch the Marines' practice up close and see some facilities in the dome by courtesy of the Orix Club. The Buffaloes led by another American manager Terry Collins won the close game that night.



### Spring Sumo Tournament & Talk with Mrs. Simmons March 25, 2007 (Sun)

Mrs. Doreen Simmons, English commentator for NHK's bilingual satellite broadcast for over a decade, gave us a fun and informative lecture before the Sumo matches. She also accompanied us to the gymnasium to watch the final day matches of the Spring Tournament. The championship went to ozeki Hakuho, who took everyone by surprise when he sidestepped yokozuna Asashoryu at the face-off and swatted him down in a split second. There were some boos and cushions flying around in the gymnasium. At the presentation ceremony, a number of trophies and prizes were presented as usual by representatives of governments and organizations including Osaka City Mayor Seki and Miyazaki Governor Higashikokubaru.



### Spring Day Trip to Kyoto - Zen and Traditional Craft April 14, 2007 (Sat)

Our tour visited Kyoto on this sunny spring day to explore the world of Zen and traditional crafts. The first stop was Manpukuji Temple in Uji, which is the head temple of the Ohbaku Zen sect and has an exotic atmosphere of a Chinese Zen temple. We tried sitting meditation, following a guided tour of the temple. In the afternoon, we took a walk in Okazaki area downtown Kyoto, enjoying Japanese gardens and sightseeing around Nanzenji Temple. After that, we divided into two groups and enjoyed traditional art crafts; one group visited Raku Pottery Museum and got a briefing from Mr. Kichizaemon Raku, and the other tried traditional stencil and made their own fans and wrapping clothes at Yuzen workshop.



### Jazz Night at Osaka Blue Note February 22, 2007 (Thu)

We held a Jazz Night at Osaka Blue Note. The musicians were the new group formed by Naoya Matsuoka, leading jazz pianist and pioneer of Latin fusion music in Japan, and Akira Wada, one of the finest guitarists in the country. Consul General Russel, a New York native, made a toast before dinner and told us about the time when the original Blue Note opened there. The participants had a pleasant evening with nice food and drinks, good company, and great music.



### Upcoming Events

July 20, 2007 (Fri)

#### Annual General Meeting & Reception 2007

Venue: Rihga Royal Hotel

Time: General Meeting at 5:30 p.m.

Reception at 6:00 p.m







Junichi Seki  
Mayor of Osaka City

## Celebrating 50 Years of Osaka-San Francisco Sister City Relations

Half a century ago, Osaka entered its first sister city relation with San Francisco. As part of this 50th anniversary celebration, Mayor Newsom headed the San Francisco delegation to Osaka in February. When Mayor Newsom visited the city hall February 19th, we signed a memorandum stating Osaka and San Francisco will enhance each city through mutual cooperation. Mayor Newsom also presented a remarkable "surprise" by unveiling that Buchanan Street, located in San Francisco's Japantown, will be renamed "OSAKA WAY". Such great news signifies the good relations between our two cities, and we were able to, furthermore, strengthen ties during his visit. Osaka City held its own celebrations including the 50th Anniversary "Kick-off", hosted by the Osaka-San Francisco Sister City Association 50th Anniversary Organizing Committee, which invited several speakers, including US Consul General Daniel Russel, for the special talk, and enjoyed a seminar by manga artists who discussed Japanese and American culture through manga art. In addition, wonderful performances by San Francisco 49ers cheerleaders, the "Gold Rush", at Universal Studios Japan, took place. I deeply thank Mr. Toichi Tanenaka, Chairman of the 50th Anniversary Organizing Committee, as well as each organization and individual involved, in enabling the mutual good relations of our two cities. In efforts to bring more citizen involvement in sister city relations, the 50th Anniversary Working Group was established in September last year. Drawing from various expertises, the 140 members have generated many ideas for commemorative activities, such as the "2007 Kanrinmaru Voyage", a sailing mission to cross the Pacific, a meeting with the Junior Chamber of Commerce of both cities, and English Rakugo, or comic story-telling, among others. I, too, will visit San Francisco in September, and look forward to personally contributing to sister city relations, as well as to our common goals, indicated in the memorandum, of addressing urban issues and cultivating "creative" potentials. As Osaka strives to promote further cooperation and goodwill between Japan and America, I kindly ask for the continued support and cooperation by JASO members.



Mayor Newsom of San Francisco

San Francisco delegation visiting Osaka



## Member's Column



Yasuko and Seth Siegel  
(Kyoto)

was an unexpected treat. Her years of experience and extensive knowledge with Sumo Wrestling added a depth and dimension of excitement to the tournament for both of us as well as altered the nature of our future appreciation for the sport. To have included Mrs. Simmons in the event is both a credit to the quality of the events the Japan-America Society of Osaka produces as well as to her unique role as an advocate and incredibly knowledgeable resource for Sumo Wrestling. We look forward to continuing to be a part of The Japan-America Society of Osaka and its future events. Our continued interest in whatever useful role we can play, serving as a small part of the important work that the bridges between Japan and America and East and West at large are, continues to be a strong commitment for the two of us.

## Dear Fellow Members

We would like to formally say hello to the local membership at large and to thank you for including us in the Osaka Chapter and its local activities. We both very much enjoyed the final day of the Sumo Wrestling Tournament on the 25th of March. This was the first JASO event that we have been a part of. And it was both an exciting day for us as well as an unusually informative way to see Sumo Wrestling live. Having had a chance to hear about the background and detailed explanation about Sumo from Mrs. Doreen Simmons



Yuko Noda  
(Kyoto)

kind faces of people who treated me like a family member or who helped me a lot in the United States --- blue-eyed mother who gently hugged me when I was nervous and worried about my first stay abroad and those who cared about my daughter and me when we were having a hard time dealing with problems. I was really grateful for the great help we received in the foreign country and it taught me what benevolence is. I think it was those experiences that made my daughter choose a job where she helps build bridges between Japan and the United States. I wish that the time should come when young people are not bound by country borders and believe the world could be one with humanity. I hope I can be of any help in making it come true.

## My Life and America

It all started when I arrived at Seattle Airport as a 20-year-old college student. In those days, the United States was one big and rich country every Japanese dreamed of. I was amazed at the sheer sizes of milk bottles and pizzas at my homestay. That was thirty years ago. Since then, I went to America many times: as a worker when I was with an airline, as a wife for my wedding ceremony and honeymoon with my husband, and as a mother of a child who studied there. Looking through my life album, there were always



## From U.S. Consulate General Osaka-Kobe

What are the ways that Japanese and Americans get together? If you belong to JASO, then you certainly know of one way - Osaka's Japan-America Society. Another is 'Ship Visits'. US Navy ships visit ports all over Japan; our sailors get to know the Japanese, and the Japanese get to know American sailors, face-to-face. The US and Japan have been allies now for over half a century; our sailors are meeting the people they are sworn to protect, and the Japanese their partners in national defense. During ship visits, the ship's Captain accompanied by consulate officers, visit local officials. The local press is shown the ship, and there is a reception combined with tours, by invitation. A big part of any ship visit, one very popular with the sailors, is called 'Community Relations', or 'ComRel'. The sailors ask, does an orphanage need some scrubbing? Is there a rest home that could use its yards swept? The sailors put together a work party, and the job is done. The USS Stetham visited Osaka port in early March. In Osaka the Holy Family Home hosted a work party, and following the work, opened its doors to the sailors, men and women, for a social hour of playing and talk. The sailors loved it; they spend months away from their own families, and are often not much older than orphans they passed the day with. Like the children at the Holy Family, the sailors are a varied bunch; men and women, from all over the US, officers and enlisted, engineers and cooks. But they are alike in looking forward to finding friends and new corners of Japan to explore. So, next time a ship pulls into port, take the time to take a look, and perhaps you can find a way to participate in what is always an exciting event - a Ship Visit!

## Soliloquy

This year marks the 50th anniversary of Osaka-San Francisco sister city relationship and various events and projects are happening in both cities. The article from Osaka City in this issue will tell you about the events in Osaka, so I will talk about the Cherry Blossom Festival and the opening reception of the 50th anniversary in San Francisco that I attended representing Osaka. At the opening reception held on Friday, April 20, I had a great time with Co-Chair Persons Mrs. K. Kimura and Mr. A. Okamoto and many other people of the sister city association in San Francisco. We also joined the grand parade of the Cherry Blossom Festival on Sunday, April 22. After greeting San Francisco Mayor Mr. Newsom, we paraded through the street nearly 2 km for about 45 minutes from the City Hall to the final destination of Japan Town. Being blessed with fine weather, there were a lot of people on the street to enjoy the parade. It was just a short time but I hope we were of some help to promote friendship between the two cities.



This is the last time for me to talk to you in this column as president of JASO. I would like to thank you all for your kind support during our term.

## ◆New members◆

### Corporate Members

**Nishi San-Esu Kanzai**  
President: Kanemitsu, Michiru  
Director: Kanemitsu, Yukari

**Osaka Shiroguchi Kenkyusho Co., Ltd.**  
President: Shiroguchi, Toshio  
Executive Director: Yamaguchi, Suet  
Assistant Manager: Miyasaka, Shuichi

**Takenaka Civil Engineering & Construction Co., Ltd**  
Director: Nagai, Koji  
Senior Manager: Tsuji, Kazuyuki

**Nohmi Bosai Ltd. Osaka Branch**  
Branch Manager: Minami, Kinji  
Dept. Manager: Ono, Hiroaki

**Tsurukame Corporation**  
President: Yawata, Yasuo

**Yamada & Co., Ltd**  
President: Yamada, Ryuzo  
Branch Manager: Yamada, Yoshitaka  
Secretary: Shimmyo, Fumihito  
Sales Manager: Ikenaga, Tatsuhiko  
Sales Manager: Miyauchi, Hiroyuki

### Individual Members

Ashizaki, Shigeya (Takatsuki)  
Hara, Kent (Ashiya)  
Matsuda, Kikuko (Toyonaka)  
Nakayama, Yasuhide (Osaka)

Ono, Koshin (Osaka)  
Sakagami, Fujio (Nishinomiya)  
Siegel, Seth (Kyoto)  
Siegel, Yasuko (Kyoto)

Shiraki, Takashi (Kyoto)  
Yamaji, Masato (Takamatsu)  
Yoshida, Shihō (Osaka)

**Notes** We finally got to invite Mr. Valentine for a lecture on May 9, which we had been hoping for a long time. We hope the participants enjoyed it as much as we did. From next issue, editing of the newsletter will be handed over to the next executive office. Thank you for reading our newsletters for the past two years. We met many people and got a lot of help through organization of the activities and editing of the newsletter. We would like to express our appreciation to all of you. Thank you! (JASO Office)